

取組のポイント

- 単元の「学習計画」の児童との共有と、振り返る場の設定
- 本時のねらい（ゴール）と学習の見通しの明確化
- 学んだことや自己評価を「学びの様子」として記述する取組の実施

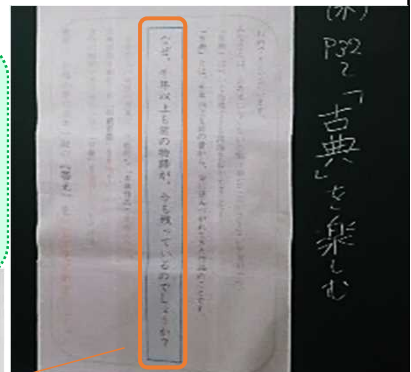
取組の概要

学習計画の共有

第5学年国語「日本の文化を考えよう」の単元で、「なぜ古典や伝統文化が今も残っているのか」という単元の課題を踏まえた話合いが進められるよう、学習計画を示すとともに、毎時間の個々の学びを記述した。

昔から読みつがれている物語を読み、感想を書くこと。～古典作品の内容を知り、音読すること。昔の人のものの見方や感じ方を知ること。

| 時 | 学習内容 | 振り返りシート |
|---|---------------------------------|--|
| 一 | ① 古典とは ② 竹取物語 | 「竹取物語のつづきが知れてよかったです。」 「古典を讀んでみようと改めて思いました。」 |
| 二 | ① 平家物語 ② 物語の意味 ③ 暗唱 | 「竹取物語より新しいかんじがする。」 「いばてらそうにしていても、思ってたより読めた。でも、難かしい。」 |
| 三 | ① 伊勢物語 ② 歴史 ③ 茶はの詩も | 「教科書のような教えが多い。人の思をうけたよう。思を返すにぞ持つことがわかった。」 「歴史を知っていると楽しい。」 「長さきこボルトがルの女流流は涙かた。」 |
| 四 | ① 伝説技能とは ② クイズ ③ 古典を学んだ感想 | 「昔から受け継がれている誇り、げきぎ吉吉を踊り（演習）。」 「能は、ミラミカ、狂言はコントのよう。見え方を知れた。」 「わからなかつた。ここが、ない像を写真でわかった。今は、ふつうにある話でも、色々な歴史があることがわかった。」 「伝え方がたくさんあった。」 |



単元全体の課題を提示（第1時の板書）

毎時間の学習内容を「振り返りシート」に明記

「学びの様子」を振り返りタイムで記述

継続的な自己評価の実施

1単位時間の目標を踏まえて「何ができるようになる」といかに教員が示し、児童自身が授業の導入で自己目標を決定する。終末では自己評価して次時への意欲につなげる。

ゴールシート

| 学習内容 | 司会進行 | 発言者 |
|-------|--------------|-----|
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |
| 古典の歴史 | 古典の歴史を学ぶ。... | ... |

今日のゴールは、みんなに伝えたいです。

終末

取組の成果

- 単元のゴールを児童に意識させることができた。
- 児童の「学びの様子」を踏まえ、次時の授業づくりに生かすことができた。
- 「振り返り」を校内研修の重点とし、全校で日常的に取り組むことができるようにした。